

第2回厚別区私立幼稚園研修会に 参加させていただきました。

北光幼稚園にて

～平成28年8月31日～

第2回目の今回は、1回目の藤女子大学准教授
吾田 富士子先生の『子どもの主体性が生きる保育者
の関わり』のお話を聞いて、“ワールドカフェ形式”
を用いて「主体性ってなんだろう？」と考えたり、
「保育の迷いや悩み」を伝え合ったりしました。



“ワールドカフェ形式”とは…

会社で行われるような機能的なミーティングではなく、コーヒーを飲んだり、パンを食べたりしながら、リラックスしたままテーブルの周りで自然に会話をする形式。

知識や知恵は人々がオープンに会話する時に生まれるということで、今回このような形式を取り入れて行いました。

〈普段やっている遊びの交流〉

- 鬼ごっこなどの集団遊び
- オリンピックごっこ
- 廃品を使った作品作り など

〈日々の保育の悩み〉

- 遊びの導入がうまくいかない…。
- 退勤時間が遅い…。
- 行事の準備に追われ、じっくり遊べない。 など

〈主体性について〉

- “子どもの主体性が生きる”という部分を見ると、遊びに向き合う時間をじっくりとってあげる事が大切なのでは？
- 保育者は遊びや生活の中で、幼児が“何を見て何を考えているのか”に気付くこと大切である。
- 保育者があまり遊びを引っ張り過ぎないことが大切である。 など



今回新しい形式の研修会でしたが、リラックスした雰囲気の中で意見を出し合ったり、認め合ったりすることで、各園の先生たちが、保育や子どもの事を真剣に考え、子どもの主体性が生きるために日々努力をしていることが分かりました。本園の目指す遊び込む幼児の姿は、まさに主体性を大切にし、幼児のやりたいこと、幼児自身の思いを大切に実現していく姿です。今後も学びを深めていきたいです。